

限りある水を大切に使う

世界
トップの
漏水率の低さ
2.0%

福岡市は2度の大渇水を教訓に、水源地域・流域からいただいた貴重な水資源を有効かつ合理的に利用する「節水型都市づくり」に取り組んできました。また、市民の皆さんの「水を大切に使う」節水への意識も浸透しています。

(令和3年度市政アンケート調査:「節水に心がけている」割合92.2%)

職人技×スマートチャレンジ ●● 今日もどこかで水の見張り番「漏水調査」

公道部に埋設された水道管(配水管、給水管)からの漏水を早期に発見するため、専用の機器(音聴棒や相関式漏水探知器など)を使って漏水調査を行っています。

また、IoTセンサの活用により、漏水時に発生する微小な音や振動を検知し、遠隔地にいながらリアルタイムで漏水を監視する技術の検証にも取り組んでいます。

◆IoTセンサを活用した水道管漏水調査



音聴調査



相関式漏水探知器を使用した漏水調査



●漏水調査のお知らせ

水道局では、貴重な水を無駄なく有効に利用するとともに、道路陥没などを防ぐため、道路下の水道管に漏水がないか、調査をしています。

この調査では必要に応じて、宅地内の給水管を調査する場合がありますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

漏水調査について

- ① 調査を行う場合は、事前にお知らせいたします。
- ② 調査員は、水道局が発行している業務委託証明書を携帯しています。
- ③ この調査で費用を請求することはありません。

【管修理課】電話092-483-3208

道路上で漏水を見つけたら

漏水は水という大切な資源を無駄にしてしまうだけでなく、出水不良や道路の陥没、他の埋設管を損傷させる等、皆さまの日常生活に大きな影響を及ぼす危険があります。

晴れた日でも路面が濡れている場合は、地下に埋設している水道管からの漏水の可能性があります。

もし、道路上で漏水を見つけたときは、水道局保全課まで、ご連絡をお願いします。

漏水の
ご連絡先

【保全課】電話092-292-0265 ファクス092-472-9849
夜間等緊急を要するときは、営業時間外緊急電話受付センター
☎0120-290-432(月~金)17:30~翌朝8:45、(土・日・祝日・年末年始)24時間受付

漏水を発見した際は
こちらへご連絡
ください。



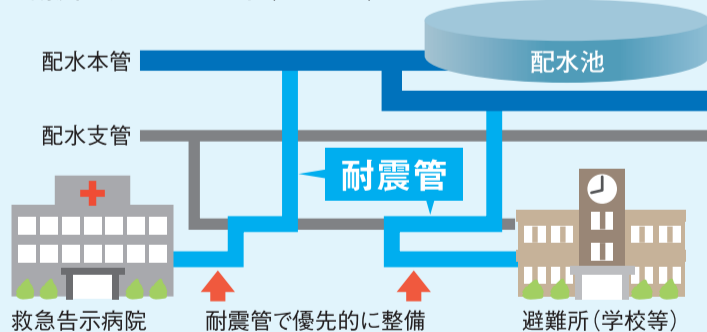
剛×柔 ●● 災害に強い!水のデリバリーシステム「配水管」

市内に張り巡らされた約4,000kmの配水管は、お客さまに安全で良質な水道水を届けるための重要な施設です。老朽化の状況などに応じて計画的に耐震管に更新しています。

●耐震ネットワーク工事を推進しています

地震発生時においてもライフラインとしての機能が維持できるよう、水道施設の耐震化を計画的に進めています。特に、「福岡市地域防災計画」において指定された避難所や救急告示病院などは重要な拠点となりますので、震災時においても水道水を届けられるよう、これらの施設につながる給水ルート(配水管)を、地震の揺れに強い「耐震管」で優先的に整備する「耐震ネットワーク工事」を推進しています。(令和6年度未完了予定)

■耐震ネットワーク工事(イメージ)



■「耐震管」とは

管の継ぎ目が伸び縮みする構造となっており、地震の揺れに対しても柔軟に対応することができます。



縮んだ状態の耐震管(模型)



伸びた状態の耐震管(模型)

S54年以降、全国に先駆けてポリエチレンスリーブ※の装着を実施

※ポリエチレンスリーブ:管を包むポリエチレン製の袋状の装着物で、管と土壌の接触を断つことにより管の劣化を防ぐ



配水管取替え



耐震管の吊上げ実験の様子
写真提供:一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会

【整備推進課】電話092-483-3145 ファクス092-483-3240 メール seibi.WB@city.fukuoka.lg.jp

渇水経験×システム ●● 節水型都市づくりの要「水管理センター〈配水調整システム〉」

昭和53年の大渇水を教訓に、昭和56年に市内の配水管の流量や水圧を24時間体制で集中コントロールする「配水調整システム」の運用を開始しました。

配水管に設置した電動弁を、遠隔から、きめ細やかに操作することで、各浄水場間の流量調整(相互融通)や、水圧調整による漏水量の抑制など、限りある水を有効に利用しています。



イベント等で、水の使い方が通常と大きく異なっても、安定して水を届けます!



【水管理課】電話092-483-3172 ファクス092-482-3150 メール mizukanri.WB@city.fukuoka.lg.jp